



薬師寺小だより

平成30年12月

下野市立
薬師寺小学校長
鈴木一恵

薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行ける子に

 くつ揃え
家族のお手伝い
やさしく

 家族との会話
親子読書
かしこく

 家族と一緒に
正しい食習慣
たくましく

強い気力・体力を育んだ 持久走大会



平成最後の〇〇という言葉があちらこちらで聞かれる今年の師走は感慨深いものがあります。

本校でも11月29日に平成最後の持久走大会が行われました。コースの見守りでは、PTA体育部の皆様に御協力頂き有り難うございました。

また、今年5名の下野市スクールサポーターの方々にも道路の安全を見守って頂き、安心して持久走大会を実施することができました。校庭や沿道ではたくさんの保護者の方々が児童にエールを送って下さり、子ども達にとって大きな励みとなりました。地域の皆様にも練習の時から道路使用の御不便をお掛けしたにもかかわらず、子ども達を温かく見守って頂きました。感謝の気持ちでいっぱいです。

お陰様で参加者全員、持てる力を出し切って立派にゴールすることができました。校長としましてもゴールするお子様一人一人の元氣な姿を確認することができ、喜びと感動でいっぱいになりました。

苦しいことは避けて通りたいとだれもが思うかもしれませんが、持久走という苦しい競技だからこそ育むことのできる気力・体力が育まれたことと思います。持久走大会ならではの達成感がこれからの成長の糧となってくれることを心より願っております。

残念ながら体調により本番に出場できなかったお子さんおりましたが、約1か月間の練習期間、一人一人自分のめあてと向き合った成果は同じです。よく頑張りました。

<教員の感想より>

- 持久走大会では参加した児童全員が無事に完走でき安心しました。振り返りの時間に「がんばってきたなあ。」「すっきりした。」「来年もがんばりたい。」という声がありました。ぜひ、今後の自分への自信につなげて欲しいと思いました。
- 練習期間の1か月間、本番まで一生懸命に練習に取り組む子が多く、本番に走ることを楽しみにしている様子がひしひしと伝わってきました。当日参加した児童全員が完走できたので良かったです。
- 練習の時から「持久走は自分との勝負だよ。」と伝えてきていたので、完走できた子たちは結果に満足しているかなあと思っていたのですが、「振り返りカード」を見ると、結果に満足している子は意外に少なく、「くやしかった。」「来年はもっと順位を上げたい。」という反省を多くの子が書いていました。子ども達を「頑張ったけどくやし!」という気持ちにさせる持久走大会。この行事のよさを感じました。



12/5第2回学校運営協議会を開催しました



学校開放日を利用して普段の子ども達の様子を見て頂きました。2・3校時に全学年を参観して頂きました。どのクラスも一生懸命に学び元気に過ごしている様子にお褒めの言葉を頂戴しました。



今年「世界人権宣言」は70周年を迎えます。本校でも「自分も相手も大切にできる優しい子どもを育てる」ことをめあてに12月10日からの1週間を「人権週間」としました。

11日には市人権擁護委員さんの秋山様、永山様をお招きして人権集会を開催しました。人権擁護委員さんからは「けんちゃん」というお人形を使った腹話術で人権の意味やSOSミニレターのお話をお聞きしました。その後、5年生の児童代表が作文を発表しました。



<5年生児童代表作文より>

2泊3日の臨海自然教室でした。活動の時は班長がみんなを引っ張ってくれたり、生活していて分からないことがあったときは、他の部屋の室長さんが相談ののってくれました。たくさんの友達が私を支えてくれました。

私が一番嬉しかったことは、みんなが笑わせてくれて、私を笑顔にしてくれたことです。そのお陰で一日一日がとても楽しく、安心して生活することができました。友達がいるからこそ自分がいるのだなあと改めて思いました。

これからも友達を大切に、この経験を毎日の生活に生かしていきたいと思っています。



最後にこの日に向けて練習を重ねてきた「きれいな音色を届け隊」のオカリナの音色に合わせ、手話を交えながら、「Believe」を全校合唱しました。温かい歌声が体育館に響きわたり薬小っ子の心の絆がさらに強く結ばれました。

校内には人権標語や人権に関する習字(3~6年)が掲示され、児童の人権意識が喚起されました。今年から習字の学習を開始した3年生も難しい「かな文字」に挑戦。心を込めながら力強く「ともだち」と書きました。



春が待ち遠しい「人権花壇」

色とりどりのパンジーや種から育てた葉牡丹、チューリップの球根が植え付けられました。各学年の花壇には明るく楽しい名前が付いています。

- 1年「きらきら」
- 2年「ぼかぼか」
- 3年「にこにこ」
- 4年「えがお」
- 5年「Smile」
- 6年「プレシャス」





読書旬間 (11/19~11/30) 本は心の栄養



本校では毎朝「読書活動」を行っています、どのクラスも集中して本を読んでおり感心します。

この活動が毎日行えますのは、保護者の皆様による学級文庫の充実のお陰です。そこで、読書旬間でもさらに子ども達に本の楽しさを味わってもらおうと、担当教職員が様々な行事を企画しました。

①「お気に入りの本」のしおりを作ろう



1年生も自分のお気に入りの本を選び、好きな場面の紹介文や絵をしおりに書くことができました。毎日の読書が楽しくなりますね。

②教職員による「おすすめの本」の紹介



先生のおすすめする本カードとともにその本も展示。するとすぐに貸し出されブックスタンドが空に。影響力の大きさに驚きました。

③お話し会(対象:全学年)

「小山子どもの本連絡会及び

おはなしボランティア養成講座修了生の会」による素話



ロウソクに火を灯すと心は本の世界。昔話や童話の素話は子ども達の心に様々な想像をめぐらせてくれました。

④パネルシアター(対象:1・2年)

下野市ボランティア「あめんぼ」



「さるかに合戦」や「鶴の恩返し」、さらにクリスマスソングまで。暗闇に輝くシアターの美しさに魅了されました。

＝家庭教育学級＝ 保護者の皆様にも読み聞かせの楽しさを

「らこんて」の皆様の「読み聞かせ」にたくさんの御参加ありがとうございました。読書への関心の高さを感じました。

＜保護者の感想より＞

- 私は優しい声や人物の気持ちになって読んであげているかなあと考えさせられました。最後まで読まず「さてこの後は？」と問いかけられると結末が気になりました。子どもにもやってみると考える力が付くかなと思いました。
- 読み聞かせを聞くことができるとても良かったです。家であまり読み聞かせができていないのでたまにやると我が子はとても喜びますし、学校での朗読もとても楽しみにしています。今後、できるだけ時間が空いたときは読み聞かせをしてあげたいと思います。
- 我が家は寝る前に娘がリクエストしてきます。家庭教育学級で久しぶりに読み聞かせを聞き、とても心地よくなりました。私はこんな風に穏やかに読んであげているかなあとと思いながら聴いておりました。また、人の想いは声で伝わるのだなあと改めて思いました。

地域とのつながりで学習が充実

11・12月もたくさんの校外学習や出前授業で子ども達は多くの方々とふれあいながら学習を深めることができました。

11/14～16日 5年 臨海自然教室



2泊3日の宿泊学習では、たくさんの活動を行ってきました。家族のありがたさや友だちの大切さも実感することができ、貴重な体験となりました。

11/19 薬小っ子集会<シンセサイザー演奏>



音楽ボランティアの松本様によるシンセサイザー演奏を聴きました。全身を使ってリズムカルに演奏する姿に圧倒されました。子ども達も自然に体が動きました。

11/20 3年社会科<かましん見学>

11/21 5年社会科<県庁見学>

11/22 工作クラブ勾玉作り<埋蔵文化センター>



埋蔵文化センターの職員やボランティアの方々による勾玉作り。太古の人々の思いや願いを感じる貴重な活動でした。擦ったり磨いたりして作品を仕上げました。

11/27 3年ふくべ細工<干瓢家族の皆さん>



ふるさと学習の一環としてふくべ細工を体験しました。思い思いの絵を描き、世界に1つの作品を仕上げました。尚一層かんぴょうに親しむことができました。

11/30 6年社会科<国会見学>



日本の政治を行う国会議事堂を見学しました。混雑していたようですが18歳から選挙権を得る子ども達にとってとても貴重な見学となったことでしょう。

12/5 授業参観後の児童預り御協力<更正女性保護の会>

12/6 3年栃木感染予防御コンソーティアム TRICK

12/7 5年総合的学習<エコプロ2018>

12/7 6年薬物乱用防止教育<佐藤博之薬剤師様>



子どもの体は「未完成」をテーマにたばこや酒が体に与える影響について、実験を交えた説得力のあるお話でした。どの子も真剣な眼差しで話に聞き入っていました。

12/7 4年総合的学習<福祉講座 手話・点字>



手話によるこんにちはやごめんなどあいさつ、色の表し方を教えて頂きました。点字で自分の名前を表す体験もしました。とても真剣に学んでいました。

今年も安全ボランティア様や学校ボランティア様などたくさんの方々に御世話になりました。有り難うございました。